

# Color Gallery

実験の広場

ビギナーのための実験マニュアル

## 人工イクラづくり 庄司 隆一

人工イクラは本物のイクラに似せてつくったイクラのことだが、いろいろな色をつけることができるので、理科の実験としても楽しめる。比較的簡単につくることができ、文化祭などのイベント用として、お勧めの実験である。P296-297



写真1 人工イクラづくりは子どもたちに人気のある実験で、本物のイクラそっくりに見える。子どもたちから「食べられるか?」と聞かれることもあるほどである。

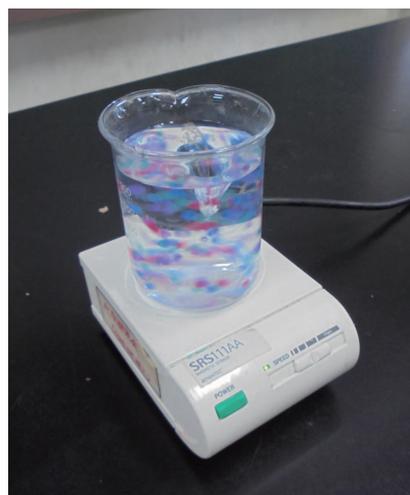


写真5 人工イクラは、空気中に放置するとひからびてしまうが、水につけておくと、少しずつ水分を吸収してもとに戻る。文化祭などのイベントの展示用としては、いろいろな色をつけ、マグネチックスターラーでゆっくりと攪拌を続けているものを展示しておくと、子どもたちは大変興味を示す。



写真6は、本校の化学クラブの生徒が展示用に本物のイクラ巻きそっくりにつくったものであるが、本物とまちがえそうなくらいだった。